

チームで行うミーティングの方法について

～一人一人が「リーダーシップ」を発揮するために～

MENTAL こころの習慣

やまぐちスポーツ医・科学サポートセンター
メンタルトレーニングコーチ 高士 真奈

どんなチームでも、アクシデントが起こったり、問題を抱えていたりするものです。

問題を解決するためには“ミーティング”をすれば良いとは知っているけれど、ミーティングとなるとみんな黙ってしまふ。また、問題を「リーダーシップを取れないからだ!」とリーダーだけの問題にしていませんか?

今回は、「リーダーシップは誰でも持つことのできるスキル」であるということをスポーツ心理学の分野から説明します。またリーダーシップを向上させるトレーニングの一つとして“ミーティング”の方法を紹介します。

リーダーシップの意味とは?

まず、リーダーとリーダーシップの意味を明確にしていきましょう。

【リーダー】とは?



先駆者・指揮者・指導者といったように集団の先頭に立つ人や者のことを指します。

「リーダーシップ」とは?



直面した問題を解決しようとする力。取り組もうとする力のことを指します。



リーダーシップはリーダーだけが持つものではなく、誰でも持つことのできるスキルです。チームの中で一人一人がリーダーシップを発揮することがチーム力につながります。

ミーティングの種類

ミーティングの中で、全員が発言する・意見を出すことが「リーダーシップ」を引き出す機会になります。では、どのようなミーティングをすれば良いか方法をご紹介します。

一方向のミーティング



いつも話す人が決まっていて、全員の意見を聴かない。

双方向のミーティング



全員の意見を聴き、一人一人が発言できる。「ホールシステム」¹⁾

注1) ホールシステム: チームの経験全体がミーティングをする

全員が協力する体制や環境を作ることで、ミーティングの質がUP!

ミーティングの実践例

どのような内容を話し合うかでミーティングの方法は異なりますが、チームでの決め事(目標設定やチーム内のルール等)を話し合う場合に適したミーティングの進め方を紹介します。

- ①選手一人一人が予め自分の意見、考えをまとめておく
- ②話し合う時間を決める
- ③小グループに分ける等、人数配分やメンバーを工夫する(学年バラバラ)
- ④司会者と筆記を決める
※グループの中で学年やレギュラー、非レギュラーなど関係なくランダムにする
- ⑤司会者はグループの全員が発言するように進行する
- ⑥発言した内容に対して、否定しない
- ⑦小グループで意見をチーム全体で共有する

チームでの決め事を話し合う場合は、

- 今現在のチームの状態を振り返る
- 未来に向けてチームが何をすべきかを決める
- 出し合った意見を基に目標(ルール、決め事等)を決める

以上のことを踏まえて、ミーティングをすると良いですよ!

ポイント

リーダーのみが発言するミーティングでなく、一人一人が意見を言えるミーティングの環境づくりをしていきましょう。



このようにミーティングのやり方を工夫し、話し合う機会を増やす事が大切です。

ミーティングを用いて、一人一人の「リーダーシップ」を向上させ、良いチーム・組織に役立てていきましょう!

【参考文献】

- 1) 吉田道雄(1995)「リーダーシップPM理論に基づくトレーニングの開発」p214
- 2) Weisbord,Janoff(2000)「フューチャーサーチ 一利害を超えた対話から、みんなが望む未来創り出すファシリテーション手法」、ヒューマンバリュー
- 3) 金井壽宏(2012)「組織開発におけるホールシステム・アプローチの理論基礎と実践的含意」、国民経済雑誌、206(5):p1-32

